

あなたの合格を全力でサポートします！

# 1級造園施工管理技士

二次コース



女性が選ぶ資格スクール

No.1



建築のプロがおすすめする建築士講座

No.1



大学生が選ぶ資格スクール

No.1



1級造園施工管理技士とは？

確かな技術で安全な環境を創造する、造園工事の現場における必須資格

1級造園施工管理技士は、造園工事業の許可に際して営業所ごとに置かなければならない専任の技術者、並びに工事現場ごとに置かなければならない主任技術者、または監理技術者となることが認められています。また、特定建設業に係る造園工事業（指定建設業）については、国土交通大臣が定める国家資格を有する者として、工事現場の監理技術者となることが認められています。

資格取得の  
メリット

- メリット 1

**社会的意義のある仕事**

急速に自然が失われ、環境保護に強い関心が寄せられる現在、造園という仕事の持つ社会的意義はとて大きなものとなっています。
- メリット 2

**現場で必要とされる資格**

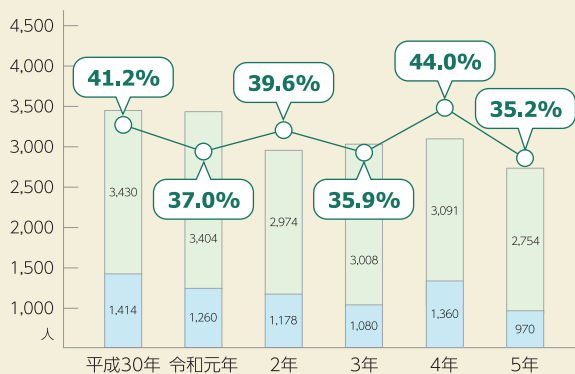
大規模な造園工事においては、監理技術者として1級造園施工管理技士の配置が義務づけられており、資格手当を支給する企業もあります。
- メリット 3

**自身のステップアップのために**

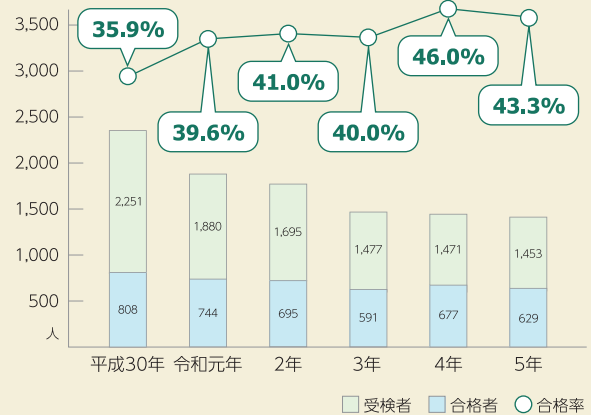
1級造園施工管理技士は、造園施工技術のエキスパートとして造園業者からの評価も高く、確実にステップアップを図ることのできる資格です。

check!

1級造園施工管理技士「一次(学科)」  
受検者数・合格者数・合格率推移



1級造園施工管理技士「二次(実地)」  
受検者数・合格者数・合格率推移



技術検定制度の見直し (2021年4月1日施行)

【改正前】



称号付与

【改正後】



称号付与

称号付与

第一次検定

施工技術のうち基礎となる知識及び能力を有するかどうかを判定

第二次検定

施工技術のうち実務経験に基づいた技術上の管理及び指導監督に係る知識及び能力を有するかどうかを判定

## 合格者インタビュー

あと1点——悔しい思いをした1回目の受検、  
日建学院でお世話になり見事合格することができました。



宮本 直樹 Naoki Miyamoto

勤務先の業種 造園業 取得資格 1級造園施工管理技士

### Q.学習スタイルや勉強法は？

1日2時間位、試験の1週間前は4時間位。試験前は2日間休みを取って勉強に集中しました。学習方法は映像講義と主に過去問中心で取り組みました。勉強はダラダラやるのではなく、時間を決めてやる方がいいと思います。

### Q.なぜ日建学院を選ばれましたか？

1回目受検の時は独学で挑みましたが、一次であと1点というところで落ちてしまっ。事務所に営業に来られていた日建学院の担当の方がいろいろ親身になってくださって、そのご縁で日建学院にお世話になり、見事に合格することができました。

### Q.実際受講してみていかがでしたか？

独学の時はどうしてもわからないところがあるとそのままになってしまっていたので、その点、映像講義なら解説、解き方まであるので、わかりやすく助かりました。





# 二次

## コースの特長

二次検定対策に特化した  
徹底集中講座

約1ヵ月間、全6回で構成される二次検定対策に特化した集中講座です。経験記述や記述式問題の過去問題を徹底分析し、解りやすい教材と理解しやすい講義内容で重要ポイントを学習し、二次検定合格を強力にサポートします。

## ■ 二次コース

受講形態: 通学

学習期間: 受講開始から  
約1ヵ月間

## ■ 二次Webコース

受講形態: Web

配信期間: 11月上旬～  
本試験当日まで

## 📅 コースカリキュラム

10月上旬

第一次検定本試験合格発表

### 二次検定対策講座 [全6回]

回数	講義スタイル
1	テキスト解説 (60分) ↓ 休憩 (5分)
2	テスト実施 (25分) ↓ テスト解説 (15分)
4	テスト実施 (60分) ↓ 休憩 (5分)
5	テスト解説 (40分)
6	二次検定模擬試験実施 (80分) ↓ 休憩 (5分) ↓ ポイント解説 (20分)

学習形態



通学型学習



Web



教材配付: 11月上旬より予定

※校により教材の配付方法は異なります。

学費: **80,000**円 (税込88,000円)



教材配付: 11月上旬より予定

※校により教材の配付方法は異なります。

学費: **80,000**円 (税込88,000円)

11月

12月

第二次検定本試験

回数	学習内容	時間数 (分)	学習内容	テスト	宿題
1	テキスト解説講義 ● ガイダンス ● 経験記述	105	■ 第1回～第3回の講義では、テキスト解説を中心にを行い、基本的な内容を学習します。	1回	1・2回
2	テキスト解説講義 ● 造園工事 ● 工程管理	105		2回	
3	テキスト解説講義 ● 品質管理 ● 安全管理	105		3回	3回
4	テスト解説講義 ● 第2回と同じ範囲	105	■ 第4回・第5回の講義では、テスト及びテスト解説を行い、新傾向の問題を学習します。	4回	
5	テスト解説講義 ● 第3回と同じ範囲	105		5回	
6	二次検定模擬試験 ● 全範囲 模擬試験ポイント解説	105	■ 第6回の講義では、二次検定模擬試験を行い、学習の成果を確認します。	模擬試験	—

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

POINT  
1

合格するためのポイントを効果的に学べる。

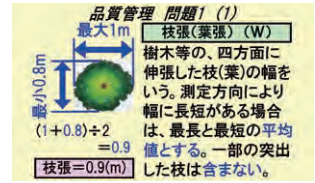
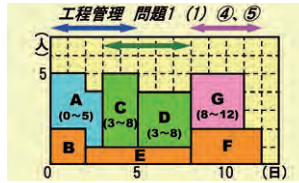
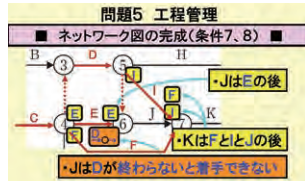
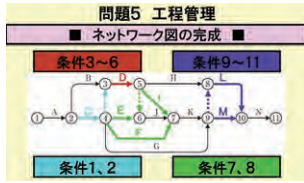
映像講義は、全て一流講師陣をはじめとするプロ集団が制作。試験のポイントがわかりやすく、要点を掴みやすい講義です。

POINT  
2

理解度・想起度が高い  
図表や動画を使用。

視覚と聴覚を同時に刺激する映像講義。理解度・想起度・記憶度を抜群に高める学習方法として、高い評価と厚い信頼を得ています。講義の流れに合わせて図表などを用いて解説するため、高い理解度が得られます。

＼ 実物映像や図解だから理解が早い！ ／



日建学院の映像講義のクオリティの高さと教材の完成度は、多くの企業、法人、大学等からも高い評価を受け、国土交通省登録の法定講習をはじめ、様々な講義への制作協力もしています。

まずは動画体験版へGo!

日建学院

検索

Click!

出題傾向を徹底分析、わかりやすい  
「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。



二次対策テキスト

二次検定で出題される「経験記述問題」、「記述式問題」のポイントを解説した日建学院のオリジナルテキストです。また、近年の過去の試験問題とその解答試案も掲載していますので、学習をする上で非常に役立ちます。



宿題

講義のポイントを事前にインプットするための予習用教材。宿題を“やる”“やらない”で講義の理解度に大きな差が出ますので、通学時には必ず提出していただきます。



テスト

宿題や講義で学んだポイントがどのぐらい身に付いているかを確認するアウトプット教材。学習度合いの客観視や弱点把握などに役立ちます。



模擬試験

本試験での出題頻度が高い重要項目で構成された問題を解くことにより、学力の最終確認を行います。正答を記述できるようにし、合格を勝ち取る実力を身に付けます。

※教材写真は過年度のものです。

# 万全の サポートシステム

合格までの道のりを支えきる。

そのために、学習面のサポートはもちろんのこと、  
厳しい受験期間に遭遇するさまざまな迷いや不安にも、  
共に立ち向かいます。二人三脚で歩む担当パートナー。  
急な出張や転勤にも即対応する日建学院のネットワーク。  
学習を続けやすい、効果が出せるサポート体制です。

## 何でも相談、 合格まで二人三脚で親身にサポート

### ライセンスアドバイザー

受講生一人ひとりに担当者がつき、入学から本試験まで、さまざまなサポートをします。出欠や成績の管理、学習面のアドバイスからメンタル面の悩みまで親身に対応。まさに二人三脚で、合格までの道のりを共に歩みます。



## 万が一の欠席も心配なし、 忙しい社会人をフォロー

### 欠席フォローシステム

仕事などの都合や諸事情で欠席しても、規定の回数までは欠席分の講義を個別学習ルームで受講可能(予約制)。学習の遅れを取り戻すことができます。忙しい社会生活の中で合格を目指す受講生を、万全の体制で支えます。



## 全国一斉、同一講義だから、 出張や転勤時も安心

### 聴講サポート

出張などで、いつもの通学校で受講できない場合も安心です。事前に予約すれば、全国の主要校の教室で聴講することが可能。全国どこの教室でも同一講義を行っているので、学習進度が異なる心配もありません。



## 個別ブースで あなただけの学習環境を

### 補習や自習にも使える個別ブース

日建学院の個別ブースは全席パソコン設置です。周囲を気にせず自分のペースで補習や自習ができます。(予約制)



## 疑問や不明点は メールでその都度解決

### 質問対応システム

講義や自宅学習、テキストやテストなどで疑問や不明点を感じたら、質問対応システムを活用。専門メール対応なので気軽に質問できます。わからない点は放置せず、早めに解決することが合格への近道です。

